

- 1 単元名 こえにだしてよもう くじらぐも
- 2 目標
 - ・登場人物の様子を想像したり、声に出して読んだりして、物語を楽しむ。
 - ・雲と話したいことを考えて書く。
- 3 指導計画 (全10時間)
 - 第1次 扉詩と「くじらぐも」を読もう (1時間)
 - 第2次 くじらぐものお話を楽しく読もう (7時間)
 - 第1時 「くじらぐも」を声に出して読む
 - 第2時 くじらぐもとの出会いを読み取る
 - 第3時 くじらぐもに飛び乗ろうとする様子を読み取る (本時)**
 - 第4時 空を旅する子どもたちの様子を想像する
 - 第5時 くじらぐもと別れるときの様子を読み取る
 - 第6時 くじらぐもに手紙を書く
 - 第3次 くもとお話したいことをかく (3時間)

4 指導上の立場

○ 教材について

本教材は、児童たちと同じ小学校1年生の子どもたちが体育の授業中にくじらの形をした大きな雲に出会い、その雲に誘われて一緒に空を楽しく旅をするという身近でファンタジックな物語である。くじらぐもが大好きな子どもたちになりきって会話文を読んだり、動作化したりしながらお話の楽しさを味わい、イメージを膨らませて物語の世界へ入っていけることができると考える。

○ 児童の実態

削除しました。

○ 研究主題との関わり

研究主題「言葉の力を育てる授業のあり方」に迫るために、読む活動を通して授業を進めていくことにした。ただ読むだけでなく、登場人物の行動や会話に視点を置いて、お互いがどんな行動をとったか、どんな言葉を発したかを場面ごとに確認しながら、「子どもたちのくじらぐもに対する思い」を考えさせたい。

本時は、「子どもたちは、くじらぐもに乗るためにがんばったか」というめあてを持たせ、授業を進めていくことにする。それを達成するために、同じ言葉が繰り返される本文中の「 」のところに注目し、それぞれ、どれくらいの声の大きさで、どんな気持ちを込めて読めばいいかを考えさせながら、子どもたちになりきって読ませたいと考える。

5 本時案

目標	子どもたちは、くじらぐもに のることを がんばったか 考える	
学習活動	教師の支援と工夫 (☆評価)	
1 前時の学習を振り返る。 ・教科書4ページから7ページを読み、登場人物やその様子を確認する ・くじらぐもが子どもが好きだということがわかるところを確認する	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな人物がいて、何をしていたのかを発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの会話には、<input checked="" type="checkbox"/>シール、くじらぐもの会話には、<input type="checkbox"/>シールが貼ってあることを確認する。 ・ くじらぐもが子どもたちが好きだということがわかる場面には、赤線が引いてあることを確認する。 ○ 登場人物がどんな会話をしてきたかを、教科書を拡大したものを提示する。 	
2 本時の学習の学習内容を確認する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 子どもたちは、くじらぐもに のることを がんばることが できたかな </div>	
3 くじらぐもに飛び乗ろうとする様子を読む ・教科書8～9ページを読む ・会話文がだれのところかを確認する ・くじらぐもと子どもや先生がそれぞれどこにいるのか確認する。 ・「天までとどけ、一、二、三」が3回あることに注目し、それぞれどれくらいの大きさの声で読めばよいか考える ・考えたら、声に出して読む	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書8～ページを二人で丸ごとを読ませる。 ○ 子どもの会話には、<input checked="" type="checkbox"/>シール、くじらぐもの会話には、<input type="checkbox"/>シールを貼る。 ○ くじらぐもと子どもたちの位置が分かるように、挿絵を提示する ○ 30センチや50センチがどれくらいの高さが分かるように、30センチ、50センチの長さのビニールテープを用意する。 ○ 子どもたちの「天までとどけ、一、二、三」が3回あることをさえ、「天までとどけ、一、二、三」と書いた短冊を大きさが違うものを3枚用意する。 ○ それぞれの短冊の大きさに合わせて子ども達の会話文を音読させるよう助言する。 ○ 「もっとたかく。もっとたかく。」と、子どもたちを応援していくじらの気持ちも考えさせるため、「もっとたかく。もっとたかく」と書いた短冊を大きさが違うものを2枚用意する。 ○ 子どもたちの「天までとどけ、一、二、三。」がくじらぐもに届いたことが分かるように、児童作成のハート型の絵を掲示する。 	
5 本時のまとめをする ・子ども達はがんばったかを確認する ・教科書8～9ページを読む	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 子どもたちがくじらぐもに のることを がんばることができたかどうか 考えることができたか。 ○ 子どもたちががんばったかを確認し、その理由もつけて発表させる ○ 子どもたちのがんばった様子ようすが分かるように会話文「天までとどけ、一、二、三」のところに気をつけて音読するように助言する 	
6 次時の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちがくじらぐもに乗って旅をするところを学習をすること知らせる。 	